中田としやがめざす 大垣のまちづくり

地方から平和・くらし・民主主義の声を
自民党政権が進める大軍拡と改憲ノー

全ての子どもたちが元気に育つまち

・学校給食無償化・少人数学級推進
・保育士の処遇改善、学童保育の充実
・「子どもの権利条例制定」等
子どもの声を大切にするまち
・市独自奨学金制度を充実

いのちを守る福祉

・国保料、介護保険料を引き下げ
・公的医療・介護を充実
・補聴器購入助成制度を導入
・円安、原油価格高騰で苦しむ
生活困窮支援
・コロナ禍のインフルエンザ予防接種助成を

市民が豊かになる地域活性化

・公共交通を充実
・同性パートナーシップ制度を導入
・最低賃金引上げに合わせ中小企業支援を
・消費税減税を国に求める
・ごみ袋有料化に反対
・脱炭素・省エネ・再エネのまちづくりを

日本共産党　中田としや後援会入会申込書

氏名	
住所	
電話	

中田としやさんを 応援します

元大垣市議会議員（浅中在住）
杉原　幸子

伊舞木座（浅草在住）
寺倉　三四郎
寺倉　和子

小中高の同級生（市内在住）
坂枝　憲以朗

子どもの保育園保護者
桑井　智康
桑井　万利子

ぎふコラボ　弁護士
笹田　参三

中田としや　PROFILE

１９８６年生まれ
江東小、江並中、大垣東高、金沢大法学部卒
業後、西濃法律事務所で勤務

２０１３年日本共産党入党
２０１５年大垣市議会議員に初当選
２０１９年二期目の当選
現在大垣市内原に在住

家族　妻、長男（小１）、次男　（年中）
趣味　身体を動かすこと
特技　機材いじり
得意分野　経済、環境、デジタル
ひとこと　最近ベースギターはじめました

二児の子育てに奮闘中　若者の代表

日本共産党　大垣市議会議員

中田としや

36 歳

中田としや事務所
住所・岐阜県大垣市内原 1-173-3
電話　　0584-88-0366
メール nakatatoshiya015@gmail.com
HP　nakata-toshiya.com

日本共産党の政策を紹介します
民主おおがき（2022 年秋・冬号外）
発行　日本共産党大垣市委員会
TEL　0584-78-6865

ご挨拶

私は、行き過ぎた資本主義、果てしない利潤の追求が招いていた格差と貧困に、立ち向かう日本共産党に期待し 2013 年に入党しました。

日本共産党は「国民の苦難を軽減する」を立党の精神に掲げ、100 年前に創立されました。100 年経った現在でも人間が生きることに苦難は尽きません。

「強者がより富む」現在社会を、転換するために私は頑張りたいと思います。

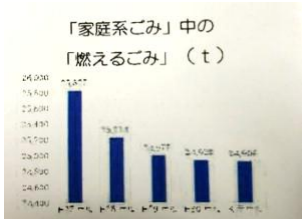
ぜひ後援会にご加入いただき、一緒に活動しましょう。今後ともよろしくお願い致します。

中田　としや

自宅前で家族と

ストップ！　ごみ有料化

有料ごみ袋制導入の根拠に「家庭系ごみ増加で減らすため」というけれど・・・
実際は家庭系燃えるごみは減っている。ごみ有料化の目的は何？



家庭系ごみの燃えるごみの変化

有料ごみ袋で新たな増税

「ごみ袋 1 枚 50 円の内 10 円は材料費で 40 円がごみ処理費」と説明あり、本来ごみ処理費は税金で賄われており、有料化とともに新たな増税（約 2 億円）が発生。新たな増税の審議はなされていない。

プラごみリサイクルでごみ減量化を
化石燃料は使わない！

燃えるごみの大半はプラスチックで、国の法律でも燃やさず全てをリサイクルするよう求められている。

不燃物の有料ごみ袋制は危険で不合理

リチウムイオン電池内臓の家電製品が増えており、処理過程で火災が頻発。不燃ごみのごみ袋制導入は新たな手間と危険が伴う愚策

リチウムイオン火災で青空が見える西南濃粗大廃棄物処理センターの建物を視察

みなさんの声を市政に届けてきました

コロナ禍から市民生活を守る

★ 中小企業コロナ対策独自支援を ★生活困窮者の相談支援
★コロナ禍で産後うつ増加。産後ケア事業で支援を

子ども･子育ての願いを

★育休退園制度の廃止 ★一人親家庭養育費立替制度提案
★もっと学童期の子どもの居場所を
★子ども食堂・学習支援活動に助成を ★学校給食無償化

高齢者の願いも

★「垣老」守って！ ★補聴器購入に助成を
★地域公共交通の充実を

スケボーやりたい！

「垣老」守ります

憲法を活かすまちを

★気候危機。カーボンゼロに向けた 本気の取り組みを求める ★国葬・統一協会、弔意の強制に反対
★核兵器禁止条約批准を求める意見書・請願の紹介議員に
★競輪は公営ギャンブル 6 億の競輪場再整備に反対